

ゆづりはサンの
余計な
お世話



For Adult Only
成人向



影が
伸びてきた

一刻も早く虎姫に
追いつきてえのに
次から次へと

邪魔ばかりで
鬱陶しい事
この上ねえや

…イヤ…
思えば今日は
朝っぱらから

邪魔ばかり
だ……

お早う
ございます
鬼助様

か
ま

ん

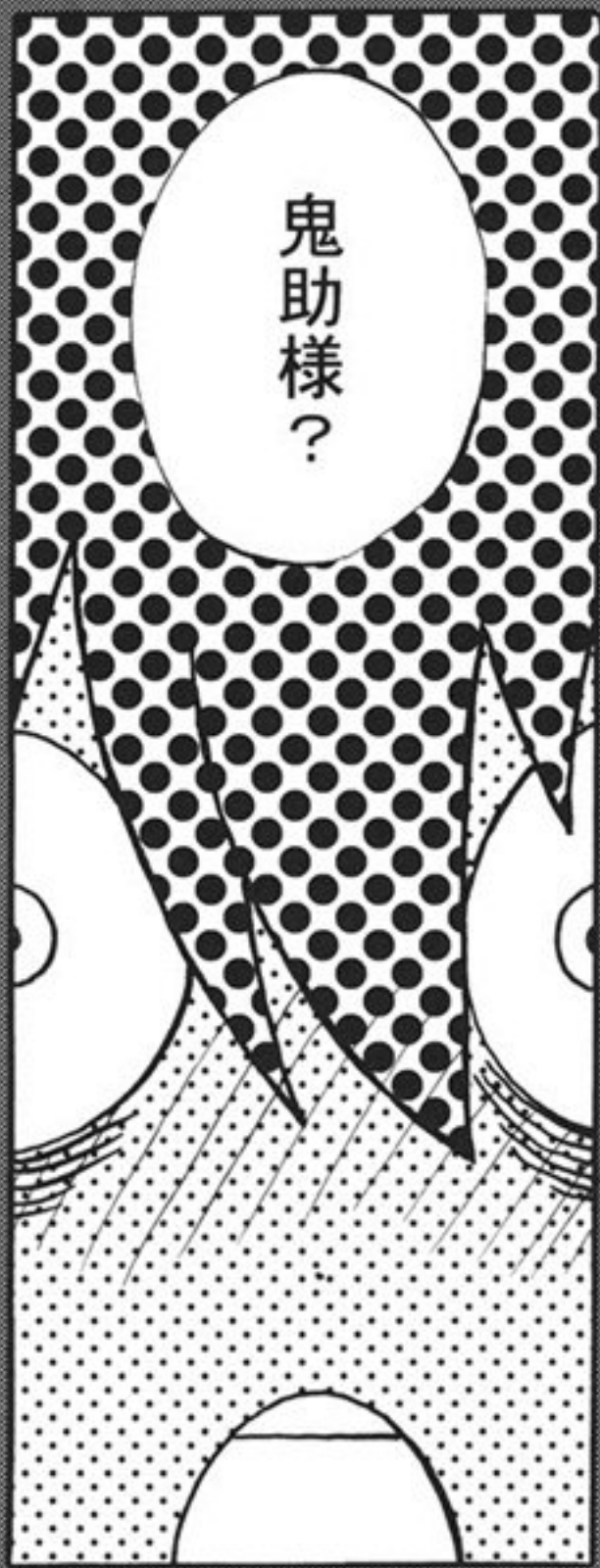
宜しければお背中
お流し致します

ゆっ
弓弦葉!!?

妖刀の使い手といえど
村正を振るい続ければ
体に疲れもたまりましょう

さ、どうぞ
湯からお上がり
下さいませ





鬼助様?



お世話を
致しまする

むし
ゆ



...いや、いい!
いらねえ!!

せーはー
せーはー

そうだ
全く...



ハハハ

!!!

!!!

ハハハ



一体どういう
了見だ…

あっ

どどど



弓弦葉の
奴め…

人がくつろいでる
所を邪魔しやがって

かあ、



どう
しました？

いえ…何故か
鬼助様が落ち着きを
なくされるように
思えまして

あああれは
考えあつての
事なのです



ああ
ああ
ああ
ああ



…
姐様

鬼助様にあんまり
お近づき過ぎるのは
およしになられた
方が

お前達：
鬼助様の心に意中の
御方が居られることは
存じておりましたよ

えええ！
それは勿論で
ございます

濃州は
鏡見の姫巫女
虎姫様！

鬼助様も
お目が高くて
いらっしやる

…ですがそれと
何の関係が？

鬼助様の
あのご様子…

？



おそろく女人の扱いを
よく存じ上げては
おられぬでしょう

おそろく女人の扱いを
よく存じ上げては
おられぬでしょう...

おそろく女人の扱いを
よく存じ上げては
おられぬでしょう...



あのまま
では意中の
姫君に思いを
伝え損ねられ
ますやもと
思うと...

よいですか
万に一つも
そのような
事があっては
ならぬです



今までを
考えても...

興味はあれど
度胸が足り
ませぬようで

成る程
落ち着きが
なくなるのも女を
知らぬ童だから
という事ですね



鬼助様は村正を
振るい我らに
魂魄をお分け下さる
大恩ある御方

そのような御仁の
御縁とり結ばせて
頂かなくてどうします

ここは姫君の為にも
鬼助様には女を知って
頂かなくては...

それはよう
ございます



では今宵…

お前達にも
力を貸して
もらいますよ



鬼助様

この先に祠が
ございます



…

今日は
これまでか…



今宵は
そちらにて
お休み
くださいませ

あ…
ああ

わざわざ
すまねえ

遠慮無く
使わせてもらうぜ



ふう
食った
食った
ア



虎姫は無事
だろうか…

お天道さんまで
サッサと引っ込み
やがって全く



……



どいつも
こいつも
手助けどころか

鬼助様





いつぞやにか
おっしゃいました
姫君との縁結びの
お話…

恩ある御方の
頼みとあらば
この弓弦葉
一層のお力添えを
させて頂きます



予想通りの
食い付き
っぷり!!

そりゃ
本当かい!!?



そういう事なら
話は別だ

何でも言ってくれ
やってやらあ



そいつは正直
ありがてえ…
けど待てよ

やっぱり狐の呪い頼りで
ヘラヘラしてる
ようじゃあいけねえ



勿論 鬼助様にも
ご尽力頂かなくては
ならぬ事が





!!!



!!...!?



なあなあ!?



ご尽力頂かなくては
ならない事、で
ございませす

尽力?
こえが?



オイ 弓弦葉
一体何の真似だ
こりやあ!

失礼ですが
女の扱いをあまり
存じ上げておられぬ
のではと

お見受け
いたしました
ので…

我々が手ほどきを
して差し上げられ
ましたらと♡

お…大きな
お世話だぜ
こん畜生め

俺は虎姫
以外の女と
どうこう
する気は
ねえ!!

アラそれでは
姫君とどうこう
される気はある
のですね

どきっ

そっ
それほ…

されど女に
慣れぬままで
果たして
虎姫様と
どうこう
出来ましようや

!!

俺だ

一口に縁結びと
申し上げても
結び方は実に様々

より良き縁を
成したければ
願うだけでなく自らも
動かねばなりません

鬼助様

我らにお任せ
あられます

虎姫様と情を
交わされます前に
夜伽の真髓：

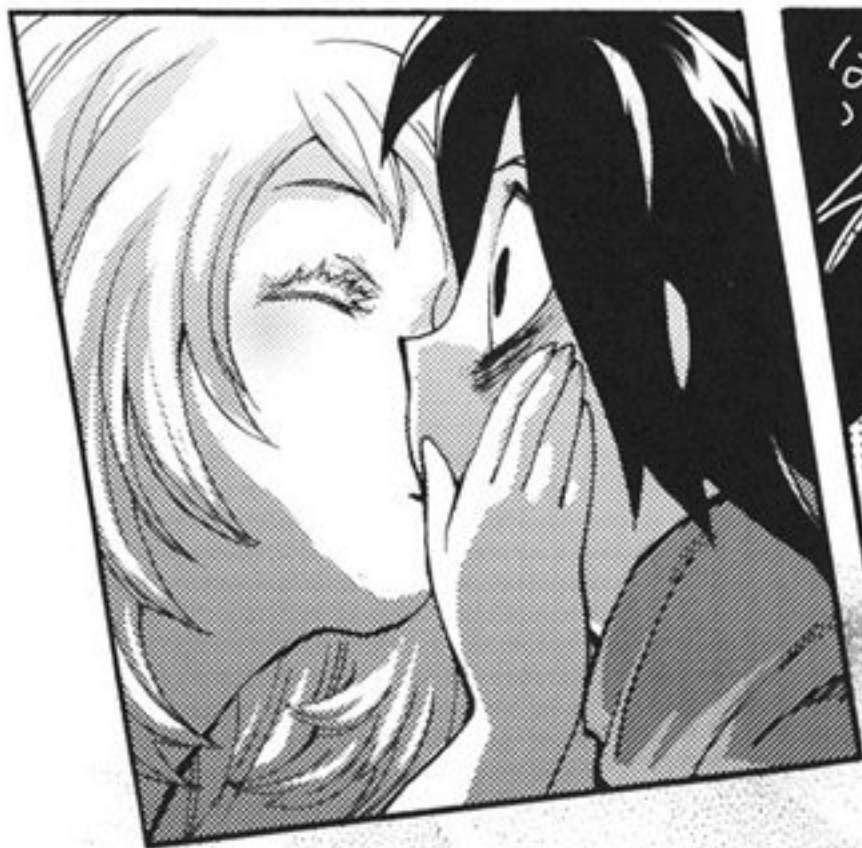
すなわち
虎の巻をしかと
お伝え致します

弓弦葉？

うわっ！

とっ：虎の威どころか
巻まで借りてるたあ
笑わせるー

サア冗談は
いい加減
これまでだ



そう
おっしや
らずに



もういい
だろう

とっとと
離しやがれ
!



——たまには
気をお許しに
なって

狐に化かされ
なさいませ



ゆづ…



うんっ



姐様
美しゆう
マギイマスう

ホラ
惚けてないで
今のうちです





あ
ん
っ

わ
っ

い
け
ね
え
さ
っ
き
か
ら
何
を
う
ろ
た
え
て
ん
だ
俺
は
…

と
も
か
く
こ
れ
以
上
余
計
な
世
話
を
焼
か
れ
ち
や
た
ま
ら
ね
え

ば
っ



ん
っ

鬼
助
様
!?
あ
っ

い
け
ま
せ
ぬ
も
っ
と
優
し
…
く
あ
っ

あ
…
は
あ
あ
…
♡



うわっ



ななな...
何しやがる
弓弦葉!



女の扱いは
ございでも

交わいまで
なさっては
いらっしやらない
ようでございますね



どうだいこれが
手ほどきが必要な
奴のものかよ

ああ...いえ
まさか此程とは...

俺とて元は
忍びの端くれ
女のタチの
一つや二つ
知ってらあ



サアこれで
分かったろう
もう止めて...

では此方は
如何でしょう



ホホ：
お言葉とはまた
随分と裏腹な

な…



ままま
交わいたと!?
当たり前だ
そりやあ
心に決めた
又とだけの



こんなにも熱く
硬くしておいででは
ございませんか

ううっ



ゆぐっ

ずる

ま…
弓弦葉



さ…
さわんなっ

これは
ご立派な
太刀をお持ちで
あります

これは



まずい事に
なっちまった…

サテ切れ味は
如何ほどに
なりましようや

サテ

サテ



っあ
!!!

早く…止めさせ
ねえと—

るい
るい
るい
!!!

ん



は...
く...

お...あ

す...
吸うな...あ

じ...

あ

ううう！





オメエあちったあ
勇気つてもんを
なあオイこのっ



姐様！遅く
なりました！

お申し付け
通りにして
ございまする！

ご苦労
お前達

な...



鬼助様



詫びの一つにも
なりませぬが...

どうぞ
おなぐさみに



先程の
お言葉...

姫君を想う
その御心 いたく
この胸を打ちまして
ございます

数々の非礼
どうかお許し
下さいませ



あ...!

!?!!!



愛しき姫の
お姿での

狐の舞いなど
御覧頂けますれば



と



耳が...
少々靈力を
集めたりません
でした...



...?
?



ひい...

ぬ...

鬼助様?

使いを遣って
変化に要る霊力を
集めて参りました

この姿は鬼助様の
想いをそのまま
映しましたもの

何卒 お気に
召されましたらと…

オイ

…ひとつ
いいか

?

虎姫の胸は
もっとでけえ

！
申し訳
ありません

では

このくらいで

いかが…

はっ

あ…

コト

ほみん♡

4ニル



虎姫つ俺は オメエがつ!



ビクビク

あつ

んん...

先程より
なお力強い...

ビクビク

たろっ

はあ...んっ

ふ...

舌先が
熱い...!!

き...
...鬼助

もう...
妾は限界じゃ

はあ

来て
おくれ

そなたの
ものを

こっくに
一息に

にちや...

ヒュー



それじゃあ
…入れるぜ

は…
早うせい



鬼助…



いいのか

よい
のじゃ

妾はそなた
となら

お主で
なければ
嫌なのじゃ

本当に…
いいのか



もうとろけ
そうじゃ…

ぬ

ぶ

んっ

んあ…
あつあつ

あ…
凄いい♡

ぶるん

ぶるん

びん



は…

ふっ

あつ

んあつ

ぐっ!

あつ!

熱う…ああつ

ふあ…
あつ♡

抜かないでっ
全部出し…

あはあつ

あああ

まだ注がれ
てる…ふあつ

んあああ
なんて多さっ♡
外に漏れ
…ひやうっ

あつ
あつ

ああ♡

あつ



すまねえ…
結局傷つけ
ちまった

そんな…



その…体張って
教えてくれた
事は忘れねえ

今日は
世話になった
弓弦葉



あ…



…いいえ
この弓弦葉

お役に立てまして
幸せにございます



翌朝

ち…

力が入らねえ…
ひよっとして
何かしたな
弓弦葉っ

ついでに少し
若い生気を
頂きました
だけですよ♡

おしまい

弓弦葉→鬼助→虎姫なまんが
いかがでしたでしょうか。

なんでこの組み合わせやねんって感じですが
そもそもは鬼助さんのED二ツめの
虎姫の墓前での二人のやりとりが
妄想の発端であります。

「なんでえオメエは喜んじゃくれねえのか」

ってなんなんだーなんでだよー
と思ってたらそこから紆余曲折の末に
こんなまんがができました。でへ。

今年の春夏に相次いで
ヴァニラウェアの新作が発表され
そわそわ嬉しい日々を過ごしておりますが
一方で朧もまだまだ描きたいなあと思っています。

ではでは、ここまでお付き合いの程
誠にありがとうございました！
またお目にかかれる事がありましたら
とても嬉しいです。

ゆづるはサンの尻で
ぱふぱふしてみたい

なかた華

**ゆづるはサンの
余計なお世話**

**森のくまさん遊撃隊
なかた華**

**発行日
二〇一一年八月十二日**

**印刷
金沢印刷**

**連絡先
<http://trtt.web.fc2.com/>
hana_mori_kuma@mail.goo.ne.jp**

**御覧頂き誠に有難う御座いました
(!)18歳未満の所持・購読を禁じます**



よこのです

私が出るのは
お二人の御縁を
結ぶ事



解せ
ませぬ

いくら恩ある
御方の為とはいえ

何も姐様のような
高位の狐が
あすこまで
されなくとも…



…姐様



叶わぬ想いが
次から
次へと…

積もっては
散るばかりの
此の世で

ましてあのよう
一途な御方の御縁を
結べるのならば

狐冥利に
つきるのでは
と……

そう
思いまするよ



YUZUMIHA-SAN MORINO KUMASAN YU-GEKITAI

2011 summer

OBORO MUJIRASHI

POYOKEIJIPO OSEMO